

特集

中部支部研究集会ワークショップ報告

～企画C：GIGASTAR mini 製作体験～

稲葉雅世（NPO 法人ギガスター）

1. ギガスターミニについて

星座盤ギガスタースカイを利用して、いろいろな施設でワークショップを実施してもらっているが、作業が少し高度なため、子供では2時間半、大人でも2時間近く完成までにかかってしまう。そのため子供向けのワークショップでは時間の確保が困難で、低学年には難しいキットになっている。

様々な場所のイベントや展示会では親子での参加が多く、低学年の子供にも作ることができて、短時間で完成できるキットも必要と考えギガスターミニが開発された。手の平サイズの星空なので、子供部屋や枕元に置いて星空を身近に感じて欲しいと願っている。



図1 ワークショップの材料と道具

2. 作業過程

しらびそ高原の美しい星空の夜。参加者はカメラや望遠鏡の準備で忙しい中、室内のワークショップを希望してくれる人は居るのかと心配だったが、5人も居た。

講師は作業時間を30分と想定していた。実際に作り出してみると、本体の紙質がすべりすぎたり、接着剤（セロテープ・両面テー

プ・のり・ボンド）が各々の箇所の接着に適しているのか等の課題があり、全員完成まで90分近くかかった。ライトの留め方も低学年には難しいと思った。

しかし、少しずつ困難を乗り越えた作業の後の完成は、達成感や充実感があり、小さな星空は手の中で美しく光り、参加者には喜んでもらえた。



図2 完成後の記念写真

3. 反省と課題

- ・ギガスターミニの材質と接着剤の検討
- ・ライトの取り付けが簡単にできるよう工夫
- ・参加者の意見を聞くためのアンケート準備

星空シートがこの日の星空（空の星座）と一緒にだと、もっと感動できた。

今回は試作品のギガスターミニだったが、ワークショップ参加の皆さんのおかげで、よりよいキットにするため改良がはじまっていると聞く。次回のワークショップでは、今回の課題がどれくらい改善されているのかが楽しみだ。